

●府民の森ひよし

前回検証結果	継 続 ・施設の魅力の更なる向上や新たな利用者層へのアプローチにより、設置目的である森林への理解を深め、自然と触れ合う場を提供することに関し、より高いレベルでの達成を図ること。
対応・改善策実施状況、取組の成果	・来園者が安全に森林散策を楽しむことができるよう、森林整備や木柵修繕等の整備を実施した。 ・地元観光協会や大手アウトドアメーカー等と連携した多彩なイベントを開催し、施設の魅力向上と利用者数増に向けた取組を行った。 ・誰もが気軽に施設を利用できるようキャンプ用品のレンタルサービスや薪材などの販売に加え、キャンプビギナー層を対象とした手ぶらキャンププランの運営を開始した。 ・企業や学生、一般の親子を対象とした森林づくり体験や企業研修の場として活用した。 ・ネーミングライツパートナーと連携した施設PRやイベントの実施を行った。 ・施設の空き状況や催し情報をSNSを利用して、積極的に発信した。
なお残る課題・問題点	◆利用予約について電話のみの受付としている。 ◆来園者数の目標人数である60,000人/年を達成できていない。また、コロナ禍以降のキャンプ需要低下の影響を受け、利用者数が減少傾向にある。 ◆閑散期（12月～2月）における利用者確保のための工夫や取組が必要。 ◆企業・団体等による森林づくり活動や木材資源の活用など広大な森林の利活用に向けた取組が必要。 ◆施設の魅力向上や利用者確保のため、芝生広場の新たな利活用に向けた取組が必要。 ◆施設の認知度が低い。
府民サービス等改革検討委員会による改善意見等	□利用者数の増加策を検討することが必要。 □中長期的に見て、イベントが利用者増加に繋がっているか利用者分析が必要。 □「森の京都」の拠点としての活性化に期待。 □予約システムの早期の整備と広報の強化、類似施設との差別化による経営戦略等で更なる利用度の向上に期待。

京都府の検証結果及び対応方向	継 続 ＜改善方策＞ ◎「森の京都」のランドマークとなるよう、利用者の増加を図るなど、より一層施設の充実を図ること。 ＜今後の対応＞ ○企業・団体による植樹活動等のフィールドとしての活用を検討するなど、森林・林業の情報発信拠点として施設の魅力向上を目指します。 ○ネット予約の導入やSNS等による情報発信の強化、アンケート調査による利用者分析等を実施し、利用者数の増加を目指します。
-----------------------	---